



消防団員らがさっそうと行進 十和田市消防出初式

2月11日、官庁街通りなどで「十和田市消防出初式」が行われました。官庁街通りには消防署員や消防団員725人と車両50台が整然と並び、観閲者である小山田市長が服装や整備などの点検を行いました。

引き続き、団員らはラッパ隊の演奏に合わせて堂々とした分列行進を披露。制服姿の消防団の勇姿を一目見ようと訪れていたかたがたを前に士気の高さを見せていました。



「かしら、右」の号令とともに引き締まった表情を見せながら行進をする消防団員

市内の伝統芸能が一堂に集結 十和田市伝統芸能まつり

2月10日、市民文化センターで「第23回十和田市伝統芸能まつり」が開催され、藤島獅子舞保存会や南部駒踊米田保存会後継者など11団体が市内各地域で継承されている伝統芸能を披露しました。

友人と訪れた米沼スミさん(76歳)は「踊りを見るのが好きで見に来ました。各団体とも後継者を育てるのは難しいかもしれませんが、伝統芸能まつりを楽しみにしているのですと続けてほしい」と、話しました。



各団体が日頃の練習の成果を發揮。力強く、流麗な舞は観客を魅了していました

市民みんなで食によるまちおこしを 十和田西高でB-1グランプリ講演会

2月7日、県立十和田西高校(堀米潤校長)で(社)B級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会(愛Bリーグ)の専務理事兼事務局長の俵慎一さんを講師に招き、「生まれ育った愛する地域から日本を元気にしよう!~B-1グランプリと食のまちおこし~」と題して講演会が行われました。俵さんは「B-1グランプリの来場者9割は地元客。まちなかで開催し、地元客がにぎわいを実感し活力につなげることで」と、話しました。



講演終了後に行われたトリオ・ザ・ポンチョスのミニライブ。西高生も一緒に踊り、盛り上がりました

商店街が買い物客でにぎわう とわだ・まける日

2月1日から3日にかけて、中心商店街などで「とわだ・まける日」が行われました。これは十和田商工会議所が主催し、市内の約60店舗が参加。通常価格より割り引きするなど各店舗ごとにサービスが行われます。

3日は十和田市商店街連合会主催のとわだストリートフェスタ「第14回飛び出せ街へ!」が開催され、各商店街で抽選会やおしるこなどの振る舞い、しじみつまみどり大会、シャトル馬車運行などが行われました。



中央デパート前では、買い物客対象の抽選会が行われ、当たりが出るたびに鐘が鳴り響いていました

北東北最大級の冬イベント 十和田湖冬物語 2013

2月1日から24日にかけて、「十和田湖冬物語 2013」が十和田湖畔休屋特設イベント会場で開催されました。

会場では、約15万個の電球を使ったイルミネーションが観光客らを出迎え、郷土料理を味わえる「ゆきあかり横丁」や地酒が堪能できる「酒かま蔵」のコーナーなどが設置されました。また、期間中毎日、冬空に打ち上げられた「冬花火」が夜空を彩り、訪れたかたがたは冬の十和田湖を満喫していました。



オープニングでメイン雪像が点灯されると観客から歓声が上がりました

新たな「農」ビジネス展開で地域を盛り上げよう 6次産業化推進セミナー

1月30日、富士屋グランドホールで「6次産業化推進セミナー in 十和田」が行われ、生産者や加工業者など約150人が参加。基調講演は「6次産業化に関する支援体制について」と題し、宮城県仙台市で野菜の生産・加工・流通を展開する(株)舞台ファームの針生信夫代表取締役が講師を務めました。その後、市内や周辺市町村の加工業者など14団体がブースを設置し、加工品などの試食や展示を行い、参加者は交流を深めていました。



試食を味わいながら、業種を超えて行われた交流会

Pick up 十和田湖ひめますの味を堪能 新商品&新メニューがデビュー

1月28日、沢田悠学館で十和田湖ひめますを使った新商品と新メニューのお披露目会が行われました。新商品は、伝法川魚店(伝法良輔代表)が販売するレトルト3作品(カレー、シチュー、炊き込みご飯の素)。青森県の「食産業連携共同プロジェクト」や市の「とわだ逸品販売ビジネス支援事業」を活用して開発しました。

新メニューは、休屋地区の食事処「神田川」(鈴木章悦店主)が提供する「十和田湖ひめますの旬菜あんかけ定食」。市雇用創造推進協議会の研修で十和田湖ひめますと地場産野菜を使ったメニューを考案、研修講師を務めた日本野菜ソムリエ協会の川島洋子さんらのプロデュースのもと完成しました。

試食した吉崎明子さん(73歳)は「カレーやシチューが新しい感じがします。定食はひめますの大きさがちょうどよく、野菜もおいしい。今までのひめますは、塩焼きや刺身が多かったのですが、メニューが増えるのはいいことですね」と、舌鼓を打っていました。新商品と新メニューは2月1日から販売しています。



商品の説明を行う伝法さん。今後、県内他地域の商品とコラボして青森県を盛り上げたいと意気込みを見せていました



十和田湖ひめますの旬菜あんかけ定食を手にする川島さん(写真左)と鈴木さん(写真右)